

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	総合的な学習の時間の指導				
担当者氏名	美濃 守隆				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	3年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	<ul style="list-style-type: none"> ○ 専門基礎-1 国際社会に貢献できる人材育成 ○ 専門基礎-2 豊かな人間性の醸成 ○ 専門基礎-3 コミュニケーション能力の向上 ○ 専門基礎-4 発達の深い理解 ◎ 専門基礎-5 指導・保育の専門性 				

《授業の概要》

- ①具体的な授業記録や資料の分析及びそれに基づく協議を通して、構成要素及び授業の計画・実施・評価の方法を体験的に学ぶ。
- ②具体的な授業事例や関連資料についての各自の主観的な意見や感想及びそれに基づく協議を重視する。また、授業分析等ではワークショップ型の活動を多く取り入れる。受講生の活発な発言や協議をおこなう。

《授業の到達目標》

- ①探求的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を通して、課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成を目指す。
- ②各教科で育まれる見方・考え方を総合的に活用、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、社会や生活の課題を探究する学びの実現のため、指導計画及び具体的な指導の仕方、学習の評価に関する知識・技能を身に付ける。

《成績評価の方法》

授業中でのレポート課題や発表等50%
定期テスト50%

《テキスト》

「小学校学習指導要領」「小学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」

《参考図書》

『総合的な学習 充実化戦略のすべて』日本文教出版、
『「生きる力」を育むポートフォリオ評価』ぎょうせい、
文部科学省「中学校学習指導要領」「中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」他、
授業内容にあわせ、適宜紹介する。

《授業時間外学習》

レポートや提出物により授業での予習・復習とする。
ポートフォリオを活用した意見交換を行う。

《備考（教員経験の有無）》

この教科は小学校の教員経験に基づき構成しています。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	講義の概要と視点
2	総合的な学習の時間とは	「総合的な学習の時間」の背景と実践の現状把握
3	ねらいと意義	「総合的な学習の時間」のねらいと意義（教育課程において果たす役割と教科を超えて必要な資質・能力の育成の観点から）
4	総合的・横断的学習の意味	「総合的な学習の時間」の教育課程への位置付け（学習指導要領の目標及び内容とその考え方）
5	授業の構造	「総合的な学習の時間」の計画・実践・評価のプロセス
6	多様な評価	「総合的な学習の時間」の評価（学習状況の評価の方法とその留意点）
7	指導計画	多種多様な学習形態と学習方法の工夫
8	指導計画	「総合的な学習の時間」の学習原理
9	授業実践例	「総合的な学習の時間」のテーマ設定と各教科・他領域との関連
10	授業実践例	「総合的な学習の時間」の展開と地域との連携
11	授業実践例	「総合的な学習の時間」を通じた国際交流
12	授業実践例	「総合的な学習の時間」の単元構成の在り方（主体的・対話的な深い学びの実現）
13	授業実践例	「総合的な学習の時間」の単元構成の具体
14	授業実践例	「総合的な学習の時間」の単元計画の実際
15	まとめと振り返り	「総合的な学習の時間」における年間指導計画